

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2016年23週 (6月2週 6/6~6/12)

2016年5月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎、咽頭結膜熱、結核、夏の蚊対策国民運動、黄熱について

病原体検出情報

定点医療機関コメント

A群溶血性レンサ球菌感染症、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、流行性耳下腺炎、マイコプラズマ感染症等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(34)、腸管出血性大腸菌感染症(3)、腸チフス(1)、E型肝炎(1)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(1)、後天性免疫不全症候群(4)、侵襲性肺炎球菌感染症(1)、梅毒(7)、播種性クリプトコックス症(1)、風しん(4)

2016年5月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図1)

23週の定点当たり報告数は2.75、22週466人 23週501人(1.08倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

流行性耳下腺炎(図2)

流行性耳下腺炎は、ムンプス、おたふくかぜとも呼ばれ、最も多い合併症として髄膜炎があり、学校保健安全法(第2種感染症)で出席停止期間が定められています。

23週の定点当たり報告数は0.70、22週127人 23週127人(1.00倍)です。

【参考ページ】流行性耳下腺炎(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/529-mumps.html>

咽頭結膜熱

23週の定点当たり報告数は0.52、22週88人 23週95人(1.08倍)です。

結核(図3)

2016年23週までの累積報告数は779件(うち無症状病原体保有者は209件)です。

2015年23週までの累積報告数は714件(同197件)、2015年総計は1,683件(同463件)で、2014年総計1,867件(同529件)から184件減少しました。

「夏の蚊対策国民運動」について

国内における蚊の活動時期に備えるとともに、ジカウイルス感染症やデング熱などの蚊媒介感染症の流行地へ多くの渡航者が見込まれることから「夏の蚊対策国民運動」が展開されます。6月は夏の蚊対策広報強化月間です。

【参考ページ】「夏の蚊対策国民運動」における蚊の対策に関する協力依頼について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000126086.html>

黄熱について

リスク国地域(アフリカ及び中南米の一部)へ渡航する場合は、予防接種を受けることが推奨されています。

【参考ページ】

黄熱に関する情報提供及び協力依頼について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000125121.pdf>

黄熱に注意しましょう!(厚生労働省検疫所/FORTH)

<http://www.forth.go.jp/useful/yellowfever.html>

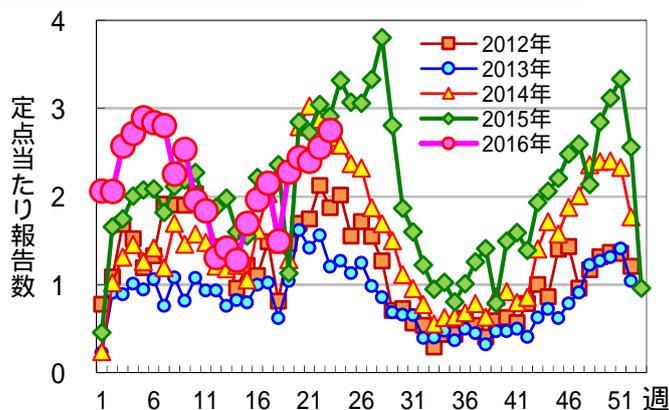


図1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

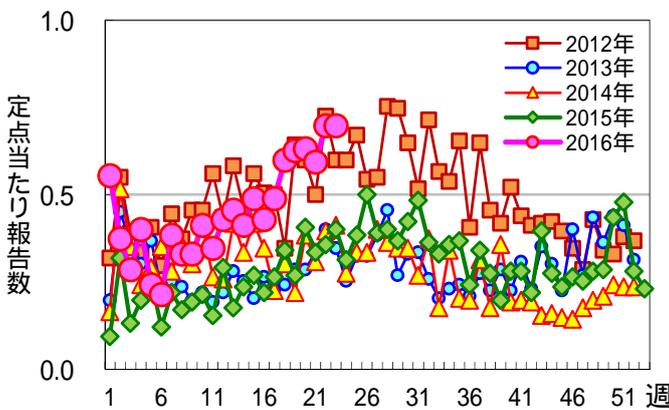


図2 流行性耳下腺炎

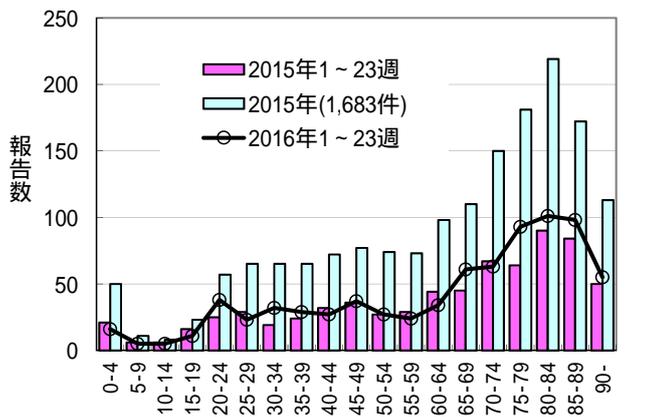


図3 結核の年齢階級別報告数 年齢(歳)
(愛知県、診断週集計、無症状病原体保有者含む)

病原体検出情報 2016年疾患別ウイルス検出速報 (2016年6月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻疹・風疹
患者数	160	2	2	8	11	11	10	312	3(9)
CV-B5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
E-6	-	-	-	-	-	1	-	-	-
FluAH1pdm	-	-	-	-	-	-	1	92	(2)
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	10	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	50	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	1	98	(1)
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	1(2)
Rota A G1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	12	-	-	-	-	-	1	-	-
Rota A G3	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	3	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GI	4	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	62	-	-	-	-	-	2	-	-
AstV	10	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	1	-	-	3	-	1	-	1	-
Ad-3	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-4	3	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-5	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-8	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-19	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-41	5	-	-	-	-	-	-	-	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
検査中	40	1	2	4	2	8	2	30	1(1)
陰性	35	1	-	1	7	2	4	31	1(2)

*インフルエンザは2015/2016シーズンの結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、

CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、FluAH1pdm: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、

FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、

FluB(山形): 同(山形系統)、NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA、RUBV: 風疹ウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

11 歳男 エルシニア腸炎

12 歳女 百日咳

【一宮市 あさのこどもクリニック】

A群溶連菌 8名でした。

ロタやアデノの胃腸炎が見られます。

【犬山市 武内医院】

アデノウイルス感染症やや目立ちます。

夏かぜ様疾患増加してきました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

ムンプス流行つづいています。

アデノ(+) 3例

GAS 4例

ヒトメタニューモ 1例

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

溶連菌が 64 件、うち 17 件は皮膚症状のみ

での受診(除、伝染性膿痂疹)

おたふく 9 件と流行続く。

【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】

16 歳男 病原大腸菌 O25 検出

溶連菌が増えて参りました。

【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

溶連菌感染症散発

今週は目立った感染症はありませんでした。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

アデノが増えはじめています。

ムンプス、水痘も多いです。

【春日井市 春日井市民病院】

7 歳女 マイコプラズマ気管支炎

溶連菌増加

夏かぜでてきました。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

耳下腺炎散発

【南知多町 医療法人大岩医院】

アデノウイルス感染症 1名(5歳)

カンピロバクター腸炎 2名(11歳、29歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

3 歳女 アデノウイルス感染症

11 歳男 カンピロバクター(+)

感染性胃腸炎が増えてきています。

学童の水痘が 2 名

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+) 6 歳女 7 歳女

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

マイコプラズマ 20 歳以上 女 2 人

【豊田市 わかその東洋クリニック】

溶連菌、りんご病が目立ちます。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

13 歳女 マイコプラズマ肺炎

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

流行性耳下腺炎が目立ちます。

マイコプラズマ肺炎が一部地域で流行

【碧南市 永井小児クリニック】

東三河地区

ヒトメタニューモ 3 歳女 1 名

【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2016年6月15日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun160215.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2016年23週報告数			2016年総計(1～23週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	13	1	4	316	76	81
豊田市	1			35	7	10
豊橋市	1		1	27	3	11
岡崎市	2		2	26	9	8
一宮	4	3		60	23	10
瀬戸				50	10	13
半田	1		1	24	6	10
春日井	4	1	2	52	8	15
豊川	2			18	5	4
津島				41	5	22
西尾				14	3	3
江南	1			20	5	2
新城				4	1	1
知多	1			34	8	10
清須	1	1		13	7	1
衣浦東部	3		1	46	6	9
合計	34	6	11	780	182	210

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	豊田市	3歳	男	6/5	6/6	6/8	O26、VT型不明
2	豊田市	38歳	男	-/-	6/9	6/11	O26、VT2(+) 無症状病原体保有者
3	豊田市	5歳	男	-/-	6/10	6/12	O26、VT2(+) 無症状病原体保有者

腸チフス（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	春日井	35歳	男	5/25	6/3	6/7	インドネシア

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

E型肝炎（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	岡崎市	72歳	男	国内

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	岡崎市	85歳	女	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	57歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	35歳	女	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	46歳	男	無症候性キャリア	性的接触	フィリピン
3	名古屋市	44歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
4	衣浦東部	35歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	13歳	男	無	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	32歳	男	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	44歳	男	無症候	性的接触	国内
3	名古屋市	21歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	37歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	33歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	名古屋市	27歳	男	早期顕症	性的接触	国内
7	西尾	38歳	男	無症候	性的接触	国内

播種性クリプトコックス症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染原因・感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	78歳	女	不明	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	34歳	男	無	国内
2	岡崎市	55歳	男	不明	国内
3	岡崎市	23歳	女	有	国内
4	豊川	40歳	男	不明	国内

5月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2015～2016年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2016年5月			2016年	2015年
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	82 (25)	52 (13)	134 (38)	720 (188)	1,683 (463)
三類 (5) 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	6 (1)
	5 (2)	1 (1)	6 (3)	15 (8)	98 (21)
	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)
四類 (44) E型肝炎 A型肝炎 コクシジオイデス症 ジカウイルス感染症* つつが虫病 デング熱 マラリア ライム病 レジオネラ症	0	0	0	0	8
	1	0	1	3	10
	0	0	0	0	1
	0	0	0	2	-
	0	0	0	0	2
	0	1	1	6	17
	0	0	0	0	2
	0	0	0	0	1
	5	3	8	27	99
	五類 (22) アメーバ赤痢 ウイルス性肝炎 内訳 B型 その他 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症 急性脳炎 クリプトスポリジウム症 クロイツフェルト・ヤコブ病 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 後天性免疫不全症候群 内訳 無症候性キャリア AIDS その他 ジアルジア症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 侵襲性髄膜炎菌感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 水痘(入院例に限る。) 梅毒 内訳 無症候 早期顕症 晚期顕症 先天梅毒 播種性クリプトコックス症 破傷風 風しん 薬剤耐性 アシネトバクター感染症**	3	1	4	27
0		0	0	3	15
0		0	0	2	10
0		0	0	1	5
1		0	1	25	80
0		0	0	18	27
0		0	0	0	1
1		0	1	4	8
2		1	3	12	16
3		3	6	33	107
0		3	3	21	60
3		0	3	11	43
0		0	0	1	4
1		0	1	1	4
2		1	3	15	15
0		0	0	1	0
14		6	20	76	161
1		0	1	4	17
9		12	21	80	122
2		6	8	23	43
5		6	11	53	71
2		0	2	4	7
0	0	0	0	1	
0	0	0	3	10	
0	0	0	2	8	
3	0	3	5	13	
1	0	1	1	0	
総計	135	81	216	1,087	2,599

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

** 2014年9月19日に「薬剤耐性アシネトバクター感染症」が五類感染症(定点)から五類感染症(全数)に変更されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2016年5月			2016年 累計		2015年 総計		
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体 合計	愛知県全体 合計			
	男	女	男			女		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	26	34	60	351	605	855	1,501
		28	14	42	254	646		
	性器ヘルペスウイルス感染症	8	12	20	92	254	224	601
		19	13	32	162	377		
	尖圭コンジローマ	7	16	23	88	127	217	328
		5	3	8	39	111		
淋菌感染症	12	28	40	191	222	489	565	
	3	0	3	31	76			
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	49	12	61	380	1,006		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	9	2	11	40	92		
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	1		

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年4月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症** (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

** 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

